

## 高規格救急車

高規格救急車は、救急隊が運用する車両で救急救命士が医師の指示の下、医療行為ができるように多数の高度救命処置用資機材を積載し、救急現場等で傷病者を車内収容し病院へ搬送中、車内での救命処置活動やドクターカーやドクターヘリで救急現場へ医師を要請した際など、医師・看護師を同乗させ活動することを考慮し、車両後部の患者室及び積載スペースを拡大した車両となっております。



### 主要諸元

- ・ベース車両 トヨタ（ハイエース）
- ・全長 5,650mm
- ・全幅 1,900mm
- ・全高 2,490mm
- ・車両総重量 3,125 k g
- ・駆動方式 4輪駆動
- ・配備年月日 平成 28 年 10 月 23 日
- ・運用部隊 中央消防署国場出張所

### 主要装備

- ・気道確保用資機材
- ・自動心臓マッサージ機
- ・自動体外式除細動器
- ・輸液用資機材
- ・夜間の活動時の二次災害防止のため  
車両両側面のNマーク及び車両を囲む  
青帯に反射材を採用。



## 40m級災害対応特殊梯子付き消防ポンプ自動車

梯子車は、中高層建物で発生した火災による、人命危険、延焼拡大、濃煙・熱気等から、多数の逃げ遅れ者を安全に素早く地上へ救助及び消火活動を行う車両です。当該車両にあっては、緊急消防援助隊へも車両登録し、県内外で大規模な災害が発生した際には、出動する車両となっております。



### 主要諸元

- ・ベース車両 日野梯子車専用シャーシ
- ・全長 10,700mm
- ・全幅 2,490mm
- ・全高 3,570mm
- ・車両総重量 20,750 kg
- ・駆動方式 2輪駆動
- ・配備年月日 平成28年11月14日
- ・運用部隊 中央消防署

### 主要装備

- ・A-2級ポンプ搭載
- ・水路付き
- ・高機能制御機能導入（制振制御装置、垂直水平装置、はしご自動収納、メモリーコントロール）
- ・梯子操作補助装置導入（はしご音声ガイダンス、リフトバッテリー自動充電装置、EL式ステップ灯）
- ・電動モニタ放水銃
- ・リモートカメラシステム

## 災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車

当該ポンプ車は、九州で初めて長野ポンプ車製の車両となっております。従来の鋼鉄製の車両フレームから、アルミ製のフレームに変えることで車両の軽量化が図られ、資機材を多数積載することが可能となった。当該車両にあつては、緊急消防援助隊へも車両登録し、県内外で大規模な災害が発生した際には、出動する車両となっております。



### 主要諸元

- ・ベース車両 日野レンジャー
- ・全長 7,320mm
- ・全幅 2,300mm
- ・全高 3,300mm
- ・車両総重量 10,650 kg
- ・駆動方式 4輪駆動
- ・配備年月日 平成 29 年 3 月 14 日
- ・運用部隊 中央消防署神原出張所

### 主要装備

- ・A - 2 級ポンプ及び C A F S 装置搭載
- ・水槽容量 2,100 リットル
- ・80mm 吸管によるサイドプルシステム
- ・加納式電動ホースカー
- ・スマートドック
- ・可搬式フロア

## ハイパーミストブロー車

当該車両は、沖縄県の入域観光客数が 861 万人を超え、建物の高層化や大規模化が進む宿泊施設、商業施設、海底トンネルやアーケード施設等における火災及び多種多様な災害に対応するため、遠隔操作による自走式大量噴霧放水大型ブロー車（通称ハイパーミストブロー車）を、全国で初めて整備しました。



### 主要諸元【左 重機搬送車】

- ・ベース車両 いすゞ G I G A
- ・全長 10,020mm
- ・全幅 2,490mm
- ・全高 3,150mm
- ・車両総重量 21,650 kg
- ・駆動方式 2 輪駆動
- ・配備年月日 平成 29 年 3 月 28 日  
(運用開始 平成 29 年 5 月 1 日)
- ・運用部隊 那覇市西消防署 小禄出張所

### 【ハイパーミストブロー車】

- ・HMB-75
- ・全長 3,698mm
- ・全幅 1,900mm
- ・全高 2,322mm
- ・車両総重量 4,570kg
- ・風速 39m/s
- ・風量 100,000 m<sup>3</sup>/h